

公益財団法人茨城県開発公社 令和7年度事業報告

令和7年度の経営状況については、昨今の材料価格高騰や人手不足の影響下にあり、先行きについて注視が必要な状況が続いていたが、各事業において事業環境の変化に的確に対応しながら、安定的かつ継続的な経営に努めた。

事業全体の当期一般正味財産増減額は、土地開発事業において土地の引渡しを行ったことや、茨城空港ターミナルビル事業において経費が減少したこと等から、591百万円余の増となった。

なお、令和7年4月からの公益法人制度改革に基づく定款及び諸規程の一部改定により、当年度決算から新会計基準を適用しているが、3年間の経過措置があることから、旧会計基準の財務諸表を継続して使用している。

【正味財産増減表抜粋】

(単位：千円)

		収益計	費用計	増減額計	他会計振替	事業間振替	当期一般正味財産増減額	正味財産期末残高*
R7決算		12,548,101	11,956,453	591,648	-	-	591,648	12,226,480
公益目的事業	土地開発事業	8,052,042	7,456,196	595,846	-	△ 2,178,955	△ 1,583,109	5,482,100
	茨城空港旅客ターミナルビル事業	399,211	334,981	64,231	-	18,288	82,518	180,019
	圃地整備・管理事業	39,045	152,381	△ 113,336	36,284	77,052	△ 0	△ 121,042
	水道事業	1,629,631	1,629,525	105	-	-	105	124,299
	公益目的事業共通	-	-	-	-	2,083,616	2,083,616	2,083,616
収益事業	宿泊施設事業	1,801,244	1,753,635	47,610	△ 18,680	-	28,930	576,008
	日帰り温泉施設事業	244,529	244,528	1	△ 0	-	0	12,880
	ビル管理事業	378,271	320,687	57,584	△ 17,604	-	39,980	4,002,610
	立地促進事業	620	25,659	△ 25,040	-	-	△ 25,040	131,034
法人会計		4,257	39,610	△ 35,353	-	-	△ 35,353	△ 245,044
内部取引等消去		△ 750	△ 750	-	-	-	-	-
R6決算		8,890,355	8,780,557	109,798	-	-	109,798	11,618,040
R5決算		19,748,901	18,616,073	1,132,828	-	-	1,132,828	11,492,808

- ・収益計＝経常収入＋経常外収入
- ・費用計＝経常費用＋経常外費用＋法人税・住民税等
- ・他会計振替＝収益事業の利益のうち概ね1/2を公益目的事業に振り替えている。
- ・事業間振替＝事業間での公益充実資金等の振替額を表す。
- ・数値は、表示単位未満の数値を四捨五入したもので、計と内訳が一致しない場合がある。(以下同じ)

※ 正味財産期末残高については、指定正味財産期末残高を含む。

○事業別実績概要

【公益目的事業】

1 土地開発事業

【プロパー事業 処分等実績】

- ・稲敷工業団地の3.9haの区画について、令和8年3月17日付けで南総通運㈱へ引き渡しを行った。
企業活動の促進及び雇用創出に資することにより、不特定多数の者の利益増進に寄与した。
- ・茨城工業団地の5.6haの区画について、割賦及びファイナンスリースの売上を計上した。
(うち2.7haの区画については、割賦代金の3割超を受領したため、㈱タカミヤへ所有権を移転済。)

○令和7年度引き渡し状況一覧

契約締結日	企業名等	面積	団地名	処分形態
R6.9.18	南総通運㈱	3.9ha	稲敷	分譲
令和7年度計		3.9ha		

※プロパー団地については、全面積立地済み。

【公共事業 工事等実績】

- ・茨城県の所有する8団地において、造成工事の施工及び企業誘致に関する協力支援までの一連の業務を受託しており、茨城中央工業団地（Ⅰ期・Ⅱ期・笠間地区）において道路改良舗装、雨水、污水、造成等の工事を実施したほか、各公共工業団地において除草等の管理を実施した。（受託元：茨城県）
- ・「坂東山地区土地造成事業」（受託期間：令和4～8年度、受託元：県企業局）において、坂東市への再委託により用地買収を進めるとともに、調整池、雨水管布設、道路改良舗装・上下水道等の工事を進めた。受託契約期間を令和8年度末まで延長した。
- ・「ひたちなか地区土地造成事業（第1期拡張地区）」（受託期間：令和5～8年度、受託元：県企業局）において、道路改良舗装・上下水道・造成工事等を実施した。
受託契約期間を令和8年度末まで延長した。
- ・「ひたちなか地区土地造成事業（第2期拡張地区）」（受託期間：令和5～8年度、受託元：県企業局）においては、危険物調査、道路改良舗装・上下水道・造成及び伐木造成工事等を実施した。

【代替地処分実績】

- ・代替地2,961㎡（東海村）を資産計上し、うち705㎡を茨城県常陸大宮土木事務所に売却した。

【正味財産増減表】

(単位：ha・千円)

	R7決算	R6決算	前年比
団地処分面積	3.9	6.3	△ 2.4
経常収益	8,051,901	4,700,147	3,351,754
経常費用	7,456,196	4,504,809	2,951,387
経常増減額 a	595,705	195,338	400,367
経常外収益 ※1	141	-	141
経常外費用	-	-	-
経常外増減額 b	141	-	141
増減額計 a + b	595,846	195,338	400,508
他会計振替	-	-	-
事業間振替額	△ 2,178,955	-	△ 2,178,955
当期一般正味財産増減額	△ 1,583,109	195,338	△ 1,778,447
一般正味財産期末残高	5,393,436	6,976,545	△ 1,583,109
指定正味財産期末残高	88,664	90,452	△ 1,787
正味財産期末残高	5,482,100	7,066,997	△ 1,584,896

※1 固定資産売却益（代替地処分）

【プロパー事業 団地簿価】

	前期繰越高 (簿価)	令和7年度 増減額 (減損・造成等)	令和7年度 簿価減少分 (原価)	令和7年度 売却高 上段は売却益	その他要因 による増減	令和7年度末 簿価残高
茨城	28,775㎡	-	-	59,710千円	-	28,775㎡
	496,808千円	-	77,477千円	※1 137,188千円	-	419,330千円
稲敷	57,057㎡	-	39,059㎡	466,171千円	△17,998㎡	-
	373,383千円	284,946千円	658,329千円	1,124,500千円	-	-
銚田西部	689㎡	-	-	-	-	689㎡
	13,035千円	-	-	-	-	※2 13,035千円
緒川	3,013㎡	-	-	-	-	3,013㎡
	2,139千円	-	-	-	-	※2 2,139千円
砂沼サンビーチ 跡地整備	-	-	-	-	-	-
	2,927千円	207千円	-	-	-	※3 3,134千円
新規開発 プロパー	-	-	-	-	-	-
	69千円	1,280千円	-	-	-	1,349千円
合 計	89,534㎡	-	39,059㎡	525,881千円	△17,998㎡	32,477㎡
	888,360千円	286,433千円	735,806千円	1,261,688千円	-	438,987千円

※1 茨城工業団地の事業用定期借地契約の売上については、ファイナンスリースとして当期受取賃貸料ではなく土地売却収益に計上している。(簿価残は年度末残高に含まれている。)

※2 仮登記を本登記にできない分について手続き中であり、完了後に県に売却予定。

※3 人件費等の配賦額についてのみ計上しており、既存施設の撤去・造成に必要な調査費用等は法人会計の建設仮勘定に計上している。

2 茨城空港旅客ターミナルビル事業

- 令和7年3月30日からの「スカイマーク」福岡便の増便や、「エアロK」の定期便就航などにより、搭乗者数は約83万人（前年比約6万人増）、搭乗者と見学者を合わせた来場者数は約151万人（前年比約11万人増）となった。
- 国内線は、「スカイマーク」の令和7年3月30日からの福岡便の増便（1日1便から2便）や「フジドリームエアラインズ」のチャーター便就航により、国内線搭乗者数は過去最多となった。また、「スカイマーク」札幌便が令和8年6月1日より1日2便から3便に増便となる見込みで、今後更なる利用拡大が期待される。
（国内線搭乗者数約75万人）
- 国際線は、「エアロK」が令和7年度から継続して運航していた清州チャーター便を5月15日から定期便化し、さらに、仁川便を11月12日から新たに定期便として運航開始した。一方で、「タイガーエア台湾」の台北定期便及び「春秋航空」の上海定期便は運休となっている。（タイガー：10/26～、春秋：11/27～）
- 長期修繕計画（R3年度～R12年度）に基づき、フライトインフォメーション設備や監視カメラの更新など、空港運営に必要な設備機器類の更新を実施した。
- 館内空調の熱源設備機器老朽化に対応するとともに、エネルギー消費の削減及び環境負荷の低減を図るため、国（航空局）の「空港脱炭素化推進」補助金事業を活用し、氷蓄熱式からモジュール式空冷チラーへの設備更新を実施した。
- 集客促進を図るため、県や小美玉市、航空会社との共催によりイベントやターミナルビル装飾を行った。
（空の日イベント、エアロKソウル（仁川）路線就航記念イベント、茨城県及びスカイマーク包括連携協定締結式イベント、開港16周年イベント、春秋航空就航15周年記念イベント等、計75件）
- テナントのニーズ調査及び空きスペースの有効活用を目的として、免税店運営者である日本空港ビルデング株式会社と連携し、令和8年3月27日から期間限定で「ドン・キホーテ」をオープンし、利用者の利便性向上及び館内サービスの充実を図った。
- テナント入居者との契約を継続し、入居件数6件を維持するとともに、期間限定店舗1件を追加することで、安定的なテナント収入の確保に努めた。
（テナント入居件数：6件を維持、期間限定店舗1件を追加）
- 旅客ターミナルビルの管理運営を行うとともに、公共交通機関等への賃貸を継続し、空港利用者などの不特定多数の利益の増進に大きく寄与した。

【正味財産増減表】

（単位：人・千円）

	R7決算	R6決算	前年比
来場者数 ※1	1,513,400	※1 1,406,200	107,200
経常収益	399,211	383,434	15,777
経常費用	334,931	401,453	△ 66,522
経常増減額 a	64,281	△ 18,019	82,299
経常外収益	-	-	-
経常外費用 ※2	50	※2 189	△ 139
経常外増減額 b	△ 50	△ 189	139
増減額計 a + b	64,231	△ 18,208	82,438
他会計振替	-	-	-
事業間振替額	18,288	-	18,288
当期一般正味財産増減額	82,518	△ 18,208	100,726
一般正味財産期末残高	94,218	11,700	82,518
指定正味財産期末残高	85,801	66,930	18,871
正味財産期末残高	180,019	78,629	101,390

※1 来場者数＝見学者数＋搭乗者数

※2 固定資産除却損

3 園地整備・管理事業

【涸沼園地】

- ・7月～8月の期間、わんぱくプールを営業した。(36日営業、延べ28,386人利用、前年比4,562名減)
- ・地域住民の交流と健康増進に寄与するため、「グラウンド・ゴルフ大会」及び「スポーツウエルネス吹矢大会」を計13回開催した。(グラウンド・ゴルフ大会参加者505名、吹矢大会参加者145名)
- ・自然環境保護意識の醸成及び青少年の健全な育成に寄与するため、「涸沼ビオトーププロジェクト 昆虫・植物自然観察会」及び「野鳥観察会」を開催した。(参加者102名)
- ・地域の賑わいづくりのため、10月に釣具メーカー等から協賛を受け、「メガバスカップ シーバス・ワンデイトーナメント in 涸沼2025」を開催した。(参加者144名)

【伊師浜国民休養地】

- ・スポーツを通じた施設利用者の健康増進に寄与するため「ノルディック・ウォーキング体験会」及び「グラウンド・ゴルフ大会」を開催した。(参加者121名)
- ・自然環境保護意識の醸成及び青少年の健全な育成に寄与するため、「自然観察会」及び「野鳥観察会」を開催した(参加者約50名)※「ホテル観賞会」は雨天の為中止
- ・地域住民及び施設利用者の交流と地域振興に寄与するため、11月に「鶉の岬秋まつり」を開催した。(参加者約4,000名)
- ・休養地内の自然環境維持のため、枯松伐採を行った。(伐採128本)

【正味財産増減表】

(単位：人・千円)

	R7決算	R6決算	前年比
グラウンド・ゴルフ人数	※1 12,028	※1 13,250	△ 1,222
プール入場者数	28,386	32,948	△ 4,562
バターゴルフ人数	1,626	1,627	△ 1
スポーツプラザ人数	3,446	5,600	△ 2,154
多目的広場人数	2,555	3,285	△ 730
経常収益	39,045	43,533	△ 4,488
経常費用	152,381	153,926	△ 1,545
経常増減額 a	△ 113,336	△ 110,392	△ 2,944
経常外収益	-	-	-
経常外費用	※2 0	※2 101	△ 101
経常外増減額 b	△ 0	△ 101	101
増減額計 a + b	△ 113,336	△ 110,493	△ 2,843
他会計振替	36,284	34,542	1,742
事業間振替額	77,052	-	77,052
当期一般正味財産増減額	△ 0	△ 75,951	75,951
一般正味財産期末残高	△ 122,363	△ 122,363	△ 0
指定正味財産期末残高	1,321	1,500	△ 180
正味財産期末残高	△ 121,042	△ 120,863	△ 180

※1 利用人数については涸沼園地のみ集計

※2 固定資産除却損

4 水道事業

【浄水場の運転管理等業務】

- ・ 県企業局所管の10浄水場において、運転管理業務及び全ルートの管路保守点検業務を実施した。
- ・ 県企業局水質管理センター及び2浄水場にて水質管理・検査業務を実施した。
- ・ 県企業局と連携した防災訓練を通して、風水害、地震及び水質事故発生時等の作業手順等を確認した。
- ・ 民間企業のバルブ製造工場研修施設において、職員の技術力の維持・向上及び経験の浅い嘱託員の技術レベルの底上げを目的とした専門教育（弁類の構造・機能、操作方法及び分解実習等）を受講した。
- ・ 県企業局那珂川浄水場における維持管理委託業務の設計積算・監督補助業務等を行った。

【水道工事監督補助業務】

- ・ 県企業局管路更新（耐震化）事業における監督補助業務及び関係機関との調整支援を行った。

【水道普及促進・啓発事業】

- ・ 市町村等が主催するイベントに出展し、水道に関するパネルの展示を行うとともに、小学生やその家族を対象とした水質検査（残留塩素）体験を通して、普段意識することの少ない水の大切さや、安心・安全な水づくりの仕組みについて啓発を行った。
 ※9月に「しもだて商工まつり」、10月に「建設フェスタ」、11月に「土浦市ミニ産業祭」に出展。
- ・ 水道普及率の低い市町村の小学校へ出向き、小学4年生を対象に、児童が自ら水づくり実験や水質検査を体験することで水道水への理解を深める「水道出前教室」を実施した。
- ・ 10月に「親子水道教室」を県企業局県中央水道事務所で実施した。（参加16組 32名）
- ・ 7月に「那珂川水系クリーン作戦」、3月に「霞ヶ浦・北浦地域清掃大作戦」に参加し水道水源地域の環境保全に取り組んだ。

【正味財産増減表】

（単位：千円）

	R7決算	R6決算	前年比
経常収益	1,629,525	1,497,954	131,571
経常費用	1,629,525	1,497,954	131,571
経常増減額 a	-	-	-
経常外収益 ※1	105	-	105
経常外費用	-	※2 0	△ 0
経常外増減額 b	105	△ 0	105
増減額計 a + b	105	△ 0	105
他会計振替	-	-	-
事業間振替額	-	-	-
当期一般正味財産増減額	105	△ 0	105
一般正味財産期末残高	94,299	94,193	105
指定正味財産期末残高	30,000	30,000	-
正味財産期末残高	124,299	124,193	105

※1 固定資産売却益 ※2 固定資産除却損

【収益事業】

1 宿泊施設事業

【宿泊施設事業の合計正味財産増減表】

・国民宿舎「鵜の岬」と、いこいの村涸沼の数値を合算している。

(単位：人・千円)

	宿泊者数	収益計	費用計	増減額計	他会計振替	正味財産期末残高
R7決算	84,844	1,801,244	1,753,524	47,721	△ 18,680	576,008
R6実績	84,117	1,638,603	1,637,503	1,100	△ 395	547,177
増減	727	162,641	116,020	46,621	△ 18,285	28,830

・収益計＝経常収入＋経常外収入 ・費用計＝経常費用＋経常外費用

(1) 国民宿舎「鵜の岬」事業

- ・宿泊人数56,638人（前年比1,335人減）、宿泊定員利用率は77.6%（前年比2.1ポイント減）となり、日帰り宴会・会議、昼食及び喫茶利用者数は、78,707人（前年比6,176人減）となった。
- ・令和7年4月からの宿泊料金の見直しにより、経常収益が増益となった。
- ・宿泊定員利用率が、36年連続で日本一となった。（国民宿舎協会7月発表）
- ・地域の賑わいを創出するため季節ごとにワークショップや体験会を開催（参加者約1,400名）したほか、公式SNSの配信を継続して行い、集客に努めた。Instagramフォロワー約7,800名（前年比3,000名増）
- ・10月に日立市観光物産協会主催による海鵜捕獲及び徒歩鵜（かちう）漁鑑賞プランの開催に協力し海鵜の捕獲場や「徒歩鵜漁」等の伝統技術PRに寄与した。（参加者117名）
- ・9月1日～5日の5日間及び2月2日～3日の2日間休館し、避難訓練・法定点検等を行った。
- ・カントリープラザの外壁の補修工事を行った。

【正味財産増減表】

(単位：日・人・千円)

	R7決算	R6決算	前年比
営業日数 ※1	358	358	-
宿泊定員利用率	77.6%	79.7%	△ 2.1P
宿泊人数	56,638	57,973	△ 1,335
その他利用者数 ※2	78,707	84,883	△ 6,176
経常収益	1,264,329	1,126,360	137,969
経常費用	1,203,023	1,125,821	77,202
経常増減額 a	61,307	539	60,768
経常外収益	-	-	-
経常外費用 ※3	129	-	129
経常外増減額 b	△ 129	-	△ 129
増減額計 a + b	61,178	539	60,639
他会計振替	△ 18,680	△ 193	△ 18,486
当期一般正味財産増減額 ※4	42,442	290	42,152
一般正味財産期末残高	619,302	576,860	42,442
指定正味財産期末残高	-	-	-
正味財産期末残高	619,302	576,860	42,442

※1 R7休館日合計7日（法定点検等7日）、R6休館日合計7日（法定点検等7日）

※2 日帰り宴会、昼食、会議、喫茶利用者の合計

※3 固定資産除却損

※4 法人住民税56千円差引き後

(2) いこいの村涸沼事業

- ・宿泊人数28,206人（前年比人2,062増）、宿泊定員利用率は70.7%（前年比1.6ポイント増）となり、日帰り宴会・会議、昼食及びキャンプ場利用者数は、36,358人（前年比2,973人減少）となった。
- ・宿泊利用者のリピーターを対象に、ダイレクトメールを22,815枚送付し、2,766名を集客した。
- ・9月～2月に、ラーケーションプラン「ハゼ釣り体験と野鳥観察」を展開した。（宿泊1組8名、日帰り8組15名）
- ・8月～10月に、宿泊者限定の体験型オプション「ハゼ釣り体験」を展開した。（32組延べ87名利用）
- ・11月～2月に、宿泊者限定の体験型オプション「野鳥観察体験」を展開した。（7組延べ20名利用）
- ・効率的な運営を図るため、利用者の少ない日に計52日間の計画休館日を設けた。（前年比15日減）
- ・「グラウンド・ゴルフ大会（年10回開催）」と連携し、延べ505名の宿泊集客に繋げた。
- ・「スポーツウエルネス吹矢大会（年3回開催）」と連携し、延べ145名の宿泊集客に繋げた。
- ・公式SNSの配信を継続して行い、集客に努めた。（Instagramフォロワー約4,000名、前年比1,600人増）
- ・9月2日～3日、2月3日～6日の計6日間休館し、法定点検等を行った。
- ・キャンプ場「HINUMA BASE」の営業により、延べ1,015人を誘客した。（前年比96人増）

【正味財産増減表】

（単位：日・人・千円）

	R7決算	R6決算	前年比
営業日数	※1 307	※1 291	16
宿泊定員利用率	70.7%	69.1%	1.6P
宿泊人数	28,206	26,144	2,062
その他利用者数	※2 36,358	※2 39,331	△ 2,973
経常収益	536,727	512,243	24,484
経常費用	550,302	511,139	39,163
経常増減額 a	△ 13,574	1,105	△ 14,679
経常外収益	※3 187	-	187
経常外費用	※4 70	※4 544	△ 474
経常外増減額 b	117	△ 544	661
増減額計 a + b	△ 13,457	561	△ 14,018
他会計振替	-	△ 201	201
当期一般正味財産増減額	※5 △ 13,513	※5 304	△ 13,817
一般正味財産期末残高	△ 43,490	△ 29,978	△ 13,513
指定正味財産期末残高	195	295	△ 99
正味財産期末残高	△ 43,295	△ 29,683	△ 13,612

※1 R7休館合計58日（計画52日、法定点検等6日）、R6休館合計74日（計画67日、法定点検等7日）

※2 日帰り宴会、昼食、会議、キャンプ場利用者の合計

※3 固定資産売却益

※4 固定資産除却損

※5 法人住民税56千円差引き後

2 日帰り温泉施設事業（日立市鶴来の湯十王）

- ・営業日数307日（前年比3日増）、利用者数 145,397人（前年比5,070人増）となった。
- ・売上増加を図るため、食事のみの利用者に係る入館料免除及び65歳以上を対象とした平日シルバー割引を継続して行った。
- ・市内イベント等において、入浴割引券（500円の入館券）を配布し利用促進を図った。
- ・日立市発行「ひたち大好きパスポート」の利用者が1,525人（前年比101人増）となった。
※市内の小中学生に配布。土曜日及び夏休み等長期休暇の期間中の利用料金が無料。
- ・食事のみの利用促進のため、チラシ配布によるPRを行った。食事のみ利用者2,788名（前年比474名減）
- ・公式SNSの配信を継続して行い、集客に努めた。
Instagramフォロワー約950名（前年比280名増）、Xフォロワー約414名（前年比44名増）

【正味財産増減表】

（単位：日・人・千円）

	R7決算	R6決算	前年比
営業日数	※1 307	304	3
利用者数	145,397	140,327	5,070
経常収益	244,529	239,834	4,695
経常費用	244,528	239,834	4,694
経常増減額 a	1	0	0
経常外収益	-	-	-
経常外費用	-	-	-
経常外増減額 b	-	-	-
増減額計 a + b	1	0	0
他会計振替	△ 0	△ 0	△ 0
当期一般正味財産増減額	0	0	0
一般正味財産期末残高	12,880	12,880	0
指定正味財産期末残高	-	-	-
正味財産期末残高	12,880	12,880	0

※1 R7休館合計58日（全て定期）、R6休館合計61日（臨時11日、定期50日）

3 ビル管理事業

- ・テナントの入退去や拡張移転等があり、入居率は93.4%となった。
(前年比2.2ポイント増、空室5室)
- ・テナントの拡張移転に伴い、会議室を4階へ集約する改修工事を実施した。この影響により、会議室稼働率は23.4%となった。(前年比4.9ポイント減)
- ・入居テナント及び会議室利用者の安心・安全を確保するため、適切な施設の維持保全及び衛生管理の徹底に努めた。
- ・1階2箇所にデジタルサイネージを設置して広告主を募集し、デジタル広告の継続的な運用による収入増を図った。(広告11件)
- ・クリスマスやハロウィンのイルミネーション増設、正月飾りの設置及び花壇整備を継続的に実施し、季節感あふれる空間を演出したほか、キッチンカーの誘致を図り、ビル利用者への利便性提供とともに、さらなる賑わいの創出に努めた。
- ・施設環境の向上を目的として、ビル北側駐車場の舗装改修工事や駐車場全体の植栽管理を徹底した。
- ・「公社ビル長期修繕計画」に基づき、空調熱源機の更新工事及び全館LED化へ向けた照明更新工事を計画的に実施した。

【正味財産増減表】

(単位：千円)

	R7決算	R6決算	前年比
公社ビル入居率	※1 93.4%	※1 91.2%	2.2P
会議室稼働率	※2 23.4%	※2 28.3%	△ 4.9P
経常収益	378,271	381,948	△ 3,677
経常費用	313,880	286,459	27,421
経常増減額 a	64,391	95,489	△ 31,098
経常外収益	-	-	-
経常外費用	※3 6,736	※3 309	6,427
経常外増減額 b	△ 6,736	△ 309	△ 6,427
増減額計 a + b	57,655	95,180	△ 37,525
他会計振替	△ 17,604	△ 34,147	16,543
当期一般正味財産増減額	※4 39,980	※4 60,962	△ 20,982
一般正味財産期末残高	4,002,610	3,962,630	39,980
指定正味財産期末残高	0	13	△ 13
正味財産期末残高	4,002,610	3,962,643	39,967

※1 公社ビル入居率は面積ベースで年度末数値(全44室中、39室入居中)

※2 会議室の稼働率は、午前・午後・夜間で算出。(1階中会議室、4階大会議室及び5階小会議室の3室)

※3 固定資産除却損

※4 法人住民税71千円差引き後

4 立地促進事業

【工事等実績】

- ・「筑西市西山田地区産業用地開発事業」において、企業からの要請を受け、筑西市と連携して開発に向けた調整を行うとともに、測量や補償調査を実施した。
- ・市町村と連携を図りながら、積極的な企業誘致活動を行った。

【正味財産増減表】

(単位：ha・千円)

	R7決算	R6決算	前年比
団 地 処 分 面 積	-	-	-
経 常 収 益	620	125	494
経 常 費 用	25,659	17,176	8,484
経 常 増 減 額 a	△ 25,040	△ 17,051	△ 7,989
経 常 外 収 益	-	-	-
経 常 外 費 用	-	-	-
経 常 外 増 減 額 b	-	-	-
増 減 額 計 a + b	△ 25,040	△ 17,051	△ 7,989
他 会 計 振 替	-	△ 50,000	50,000
当期一般正味財産増減額	△ 25,040	△ 67,051	42,011
一般正味財産期末残高	131,034	156,074	△ 25,040
指定正味財産期末残高	-	-	-
正味財産期末残高	131,034	156,074	△ 25,040

【収益・立地促進事業簿価】

	前期繰越高 (簿価)	令和7年度 増減額 (減損・造成等)	令和7年度 簿価減少分 (原価)	令和7年度 売却高 上段は売却益	その他要因 による増減	令和6年度末 簿価残高
筑西市 西山田地区	- 34,735千円	- 35,324千円	- -	- -	- -	- 70,059千円
合 計	- 34,735千円	- 35,324千円	- -	- -	- -	- 70,059千円

【法人会計】

- ・管理業務に関する収益・費用や、その他の法人全般に係る、公益目的事業・収益事業に区分できないものを表示する。
- ・「公益財団法人茨城県開発公社第3次基本計画(令和6年度～令和10年度)」の進行管理を行うとともに、事業経営検討会を開催し、今後の公社経営のあり方についての検討を進めた。
- ・デジタル技術などを活用した業務の効率化について検討を進めた。
- ・公益法人制度改革に伴う新たな会計基準(令和6年会計基準)への対応を進めた。
- ・職員研修及び資格取得を支援し、職員一人ひとりのスキル向上を図った。

【運営体制の充実を図るための取組】

- ・公益法人制度改革に則り、定款及び規程の一部改正を行った。
- ・法令遵守を徹底するため、コンプライアンス委員会を開催し、研修等を通じた職員のコンプライアンス意識の啓発等に取り組んだ。
- ・組織運営の透明性及び公正性を確保するため、理事会及び評議員会を定期的で開催し、重要事項の審議を行った。
- ・各施設における災害対応力の向上を図るため、避難訓練等を実施した。(実施回数：1回～2回)
- ・法令、定款及び各種規程等の遵守状況を確認するため、内部監査を実施した。(実施回数：4回)

【正味財産増減表】

(単位：千円)

	R7決算	R6決算	前年比
経常収益	4,257	4,776	△ 518
経常費用	39,583	40,662	△ 1,080
経常増減額 a	△ 35,325	△ 35,887	561
経常外収益	-	-	-
経常外費用 ※1	28	0	28
経常外増減額 b	△ 28	△ 0	△ 28
増減額計 a + b	△ 35,353	△ 35,887	534
他会計振替	-	50,000	△ 50,000
当期一般正味財産増減額	△ 35,353	14,113	△ 49,466
一般正味財産期末残高	△ 245,044	△ 209,691	△ 35,353
指定正味財産期末残高 ※2	0	0	△ 0
正味財産期末残高	△ 245,044	△ 209,691	△ 35,353

※1 固定資産除却損 ※2 ソーラー街路灯設置補助金

○受託事業の実績

受託事業の実績は下表のとおりである。

(単位：千円)

委託者	受託事業名	事業	受託額	受託内容	
茨城県	県単独事業	茨城空港駐車場管理	23,712	監視カメラ・放送設備による駐車場の誘導案内及び巡回警備等	
		駐車場整理等	4,714		
		茨城空港公園トイレ管理	12,732	空港公園のトイレ管理	
		公園事業地管理	1,359	空港公園の管理	
		伊師浜国民休養地	園地	9,950	休養地内及び施設設備の維持管理
		水道工事監督補助	水道	51,515	水道工事監督補助業務
		水道啓発		1,063	企業局水道普及啓発業務
		浄水場運転管理		1,574,963	浄水場運転管理業務等
日立市	日立市鶴来の湯十王管理	温泉	244,528	温泉施設の管理運営	
合計			1,924,536		

○資金の借入れ状況

借入金の実績は下表のとおりである。

(単位：千円)

区分	前年度繰越金	期中借入増減額	令和7年度末残高
茨城空港旅客ターミナルビル事業 (長期・一年内返済茨城県無利子借入金合算)	1,506,738	△ 167,546	1,339,192
合計	1,506,738	△ 167,546	1,339,192